

## 令和4年度府立西寝屋川高等学校「学校教育自己診断アンケート」の結果について

保護者の皆さまには、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。令和4年度「学校教育自己診断アンケート」の結果を報告いたします。

アンケートは、各設問4段階で評価し、A（よくあてはまる）、B（ややあてはまる）、C（あまりあてはまらない）、D（まったくあてはまらない）としています。※A+Bを肯定的な評価（肯定率）としています。

### 令和4年度全般について

本年度の学校教育自己診断「生徒アンケート」では、24項目中で肯定率が80%を超える項目が12項目、70～80%の項目が7項目、肯定率が70%未満の5項目は「図書室利用」32%、「地域交流」47%等でしたが、多くの生徒が本校での学校生活を肯定的にとらえていると考えられます。

また「保護者アンケート」では、21項目中で肯定率が80%を超える項目が5項目、70～80%の項目が11項目あり、肯定率が70%未満の5項目は「生徒の挨拶」「部活動」「PTA活動」「学校行事への参加」等に関する項目でした。肯定率が70%未満の項目について、令和3年度と令和4年度の値を比較すると「生徒の挨拶」45%→53%、「部活動」43%→40%、「PTA活動」15%→18%、「学校行事への参加」47%→56%となっています。新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった教育活動が徐々に実施できるようになり、肯定率が上昇した項目も多くある中で「部活動」が受けた影響は特に大きく、部活動への加入率が上がらずに肯定率がさらに下がる結果になったと思われます。

保護者の皆さまからのご意見やご要望を真摯に受け止め、改善に向けて取り組みたいと考えております。

### 【学習指導等】

生徒アンケートでは「授業でコンピュータやプロジェクターなどを活用している」92.9%、「生徒1人1台端末を効果的に活用している」78.9%、「授業でわからないことについて、西寝屋川高校の先生は質問しやすい」81.1%といずれも高い評価を得ています。ICTの積極的な活用による授業改善により、生徒たちにとって分かりやすい授業、一人ひとりの能力や特性に応じた学び、生徒たち同士が教え合い学び合う協働的な学びとなり、生徒対象の「授業アンケート」からも、生徒たちの自ら学ぶ意欲が増したことがうかがえます。

一方で、スマートフォン等の普及による影響からか、図書室利用率が30%台と低くなっており、中高生の活字離れが長年の課題となっています。読書の大切さを教えることで基礎学力・基礎知識をしっかりと身に付けた生徒の育成に努めてまいります。

### 【進路指導】

生徒アンケートでは「将来の進路や生き方について考える機会がある」86.6%、「学校は進路についての情報を知らせてくれる」86.4%と高い評価になっています。ここ数年はキャリア教育がますます充実し、3年生の就職希望者については就職ゼミによる「社会人講座」等の就職前指導を実施し、就職決定率100%をめざしています。また、進学指導においても、進学ゼミの実施等によって希望実現を図っており、成果をあげています。

今後も学年・教科・分掌の連携を図り、就職・進学講習や進路別のゼミなどを通じて各自の希望進路が実現できる能力の育成に努めてまいります。

### 【生徒指導等】

本校の生徒指導につきましては、年間の遅刻者数をのべ 3,000 件以下を目標に取り組んでいます（11 月末現在で 1865 件）。時間を守り行動することは社会人になるための基本であり、高校時代に正しい生活習慣が身に付くよう期待しているところです。保護者の皆さまのご協力をお願いいたします。

また、服装・頭髪指導や携帯電話使用など、ルールやマナーを守るための指導も行っております。生徒アンケートでは「生活規律や学習規律などの生活習慣の確立に力を入れている」85.9%、「命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」83.7%、「挨拶は自分から進んで行うよう心掛けている」72.6%、保護者アンケートでは「本校の生徒指導の方針に共感できる」72.4%となっており、保護者の皆さまのご理解を得ながら行っているところです。

生徒指導は生活指導でもあり、規則やきまりを守ることに重点を置き指導しております。学校と保護者との連携なしで生徒指導はありません。生徒が充実した学校生活を送るためにも保護者の皆さまのご協力をお願いいたします。

※今後もアンケート結果を踏まえ、教職員一同、教育の充実に努めてまいります。